

安芸高田 歴史紀行

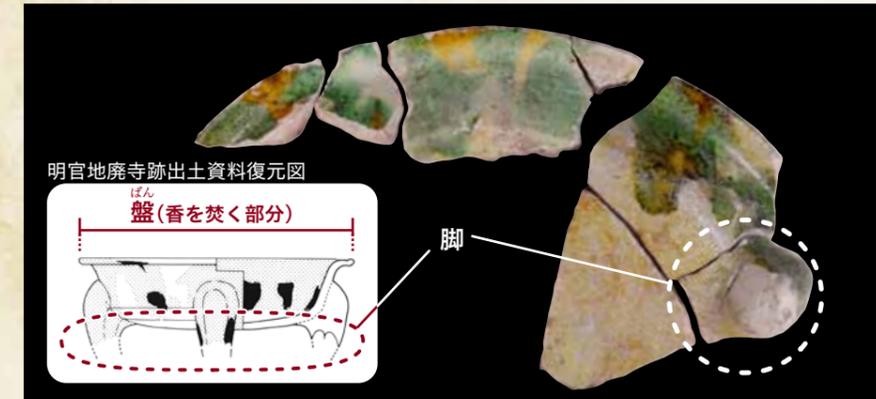


飛鳥～奈良時代に建てられた県西部では最古級の古代寺院跡である明官地廃寺跡から出土した三彩火舎について取り上げます。

シリーズ
「博物館コレクション」第8回

仏教文化の薫りを伝える逸品 奈良三彩火舎(明官地廃寺跡出土)

明官地廃寺跡出土 奈良三彩火舎



三彩
2種類以上の色釉(緑・黄・白・藍など)を器の表面に染め分けした鉛釉陶器で、中国の唐で作られたものは、「唐三彩」と呼ばれます。その影響をうけて、奈良時代に日本国内で生産されたものを「奈良三彩」と呼び、その初現は八世紀前半であるといわれています。

奈良三彩火舎
金堂(推定)の建物の基礎とみられる、瓦を積んだ基壇の付近から、県内で他に出土例のない奈良三彩火舎がみつかりました。
浅い盤の口縁を大きく外側に折り曲げ、底にいくつかの脚をとりつけた形のもので火舎と呼ばれます。明官地



明官地廃寺跡(吉田町中馬)
七世紀後半の創建と考えられ、江川の支流・油川を望む東斜面に立地します。金堂と推定される建物の礎石痕がみつき、軒丸瓦や鴟尾などの大量の瓦と当時の郷名からつけられたと考えられる「高宮郡内部寺」という寺の名が刻まれた平瓦、金属製指輪などの貴重な遺物が出土しています。



廃寺のもの、本来は口径約15cm、高さ約4cmの盤に脚が付き全体の高さは6〜7cm程のものであると推定されます。奈良時代では、仏像の前に据える道具として使われたと思われる、おもに寺院・官僚邸などから出土します。畿内出土の類例品や本遺跡内で共に出土した土器・瓦の時期から、八世紀前半頃と推定されています。これらの資料から、当時の寺院での儀式の様子や畿内の有力者との強い結びつきがうかがえます。
(参考文献「明官地廃寺跡試掘調査概報」二九八五 吉田町教育委員会)

参考:奈良時代に作られた三彩火舎(史跡神雄寺跡[馬場南遺跡]・京都府木津川市蔵) 画像提供:財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター

暮らしに役立つ制度をシリーズで紹介

結婚編

安芸高田市では市民のみなさんやI・Uターンの方々の暮らしをサポートする様々な制度を用意しています。上手に活用して、充実した安芸高田ライフをお過ごしください。



結婚コーディネーターの方に背中を押してもらってよかった! 今、とても幸せです



大瀬音学さん

少子化の一因とされる未婚の男女の増加に歯止めをかけるため、市では結婚を希望する方の支援を行っています。中心となって事業を進めているのは、経験豊かな結婚相談員と結婚コーディネーターのみなさん。相談や交流イベントを通して、一組でも多くの方の結婚を目指し、結婚による定住人口の増加に努めています。

結婚縁結び事業

結婚相談員と結婚コーディネーターが、結婚希望者からの結婚に関する相談や紹介活動を行っています。結婚相談員は環境生活課内にある結婚相談所で週2日勤務。結婚希望者やその家族からの相談を受けたり、結婚コーディネーターを集めて連絡会議を開くなど、結婚コーディネーターと連携して結婚希望者を支援します。

結婚コーディネーターは、結婚を希望する方から提出された紹介カードをもとに、月1回開催する連絡会議で情報交換を行い、結婚希望者同士の出会いの場を提供。結婚相談員と連携して出会いから結婚までサポートしています。

カップリングイベント交流イベントの事業

未婚の男女に交流の場を提供するためのイベントを開催しています。内容は結婚を希望されている方のアンケートなどを参考に、結婚相談員と結婚コーディネーターなどが協議して決定。イベントの実施時期や内容は広報紙や市のホームページなどでお知らせしています。

これまで開催されたイベント



3月17日(日)開催!



これまでの実績

登録者数**362**人(平成30年6月現在)
制度開始から結婚サポート事業によって成婚したカップル数**46**組(平成30年12月21日現在)

環境生活課内結婚相談所 ☎ お太助フォン42-1126